

中小企業景況情報

平成22年 1月～3月期実績
平成22年 4月～6月期予想

富山県商工会連合会

中小企業景況状況 平成22年1月～3月期

富山県下商工会地区における中小企業の景気動向を定期的に把握し、業界に対する情報の提供ならびに商工会が行なう経営改善普及事業の基礎資料に資するため、四半期毎に定点観測調査を実施した。

〔 調 査 基 準 〕

1. 調査方法 商工会の経営指導員による訪問調査
2. 調査時点 平成22年3月1日
3. 調査対象期間 平成22年1～3月期実績および平成22年4～6月期予想
4. 回答企業内訳および回答率

業 種	対象企業数	回答企業数	回答率(%)	地 区 名
製 造 業	32	31	96.8	宇奈月町・南砺市
建 設 業	29	28	96.5	富山市南・庄川町
小 売 業	39	39	100.0	射水市・富山市北
サービス業	50	48	96.0	小矢部・津 沢
合 計	150	146	97.3	高岡市商工会

(注) 1. 本調査でのD・Iとはディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（上昇、好転）企業割合と減少（低下、悪化）企業割合の差を示すものである。

産 業 全 体

- ・全産業の業況判断（D I）は、前回調査比（12月）比12.9ポイント好転し△38.7となった。
- ・来期は3.1ポイント上昇の△36.6を予想している。

本県商工会地域の全産業業況判断（D I）は△38.7で前回調査（21年12月期）比12.9ポイント好転した。

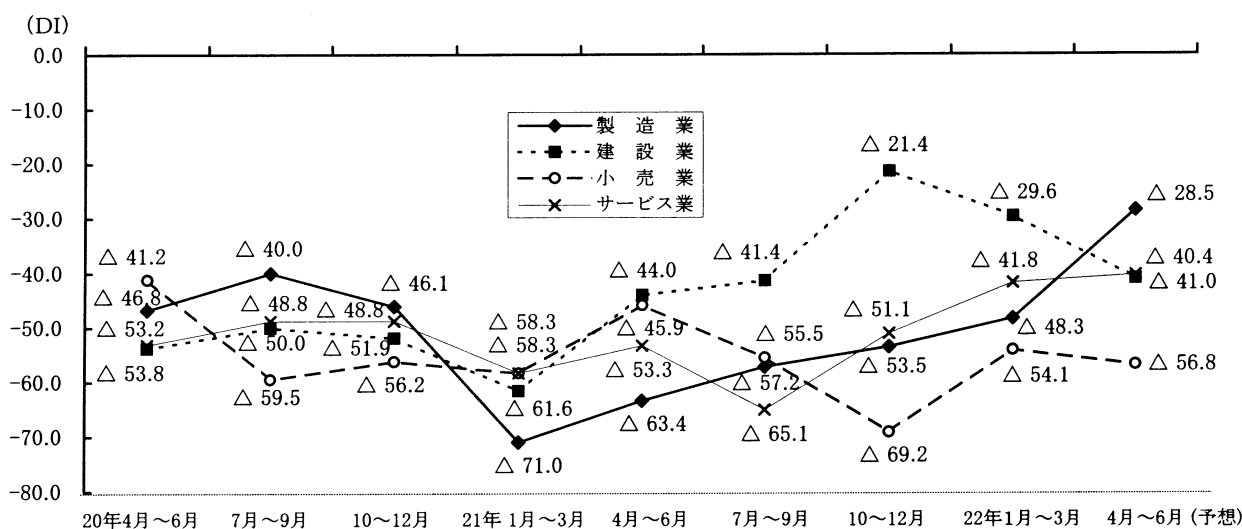
全国商工会地域の全産業業況判断（D I）比較では、本県商工会地域は建設業・サービス業で上回り、製造業・小売業で下回った。

1. 業況判断D・Iの推移（前年同期比）

〔前期比、製造業・小売業・サービス業で好転、建設業は悪化した〕

今期は、前期より製造業△48.3（+5.2ポイント）、小売業△54.1（+15.1ポイント）、サービス業△41.8（+9.3ポイント）は好転、建設業△29.6（-8.2ポイント）は悪化した。

来期は、製造業△28.5（+19.8ポイント）、サービス業△40.4（+1.4ポイント）で好転、建設業△41.0（-11.4ポイント）、小売業△56.8（-2.7ポイント）は悪化を予想している。

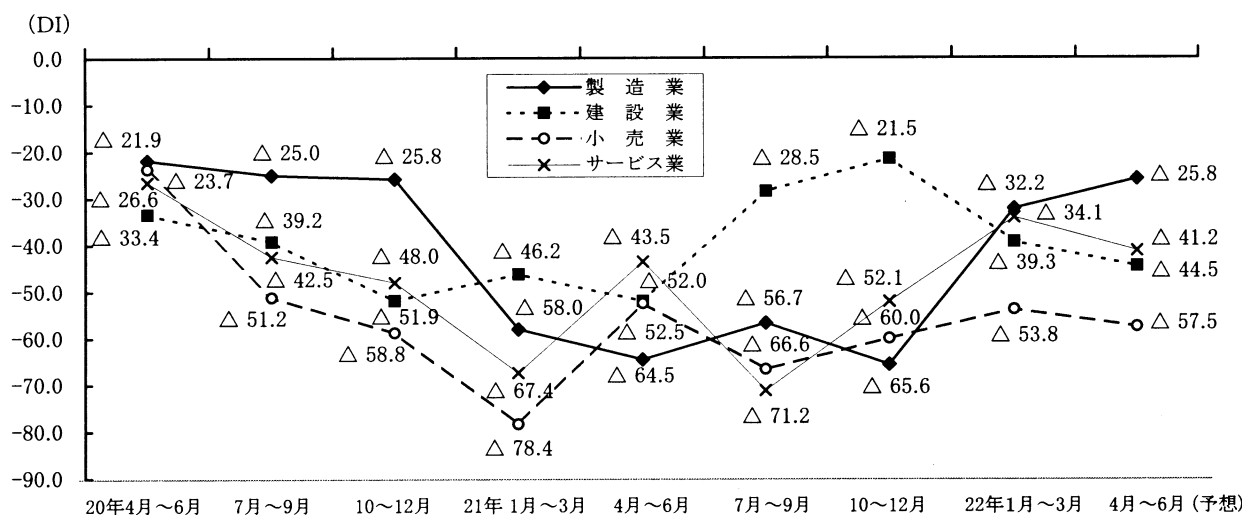


2. 売上額D・Iの推移（前年同期比）

〔前期比、製造業、小売業・サービス業は好転、建設業は悪化した〕

今期は、前期より製造業△32.2（+33.4ポイント）、小売業△53.8（+6.2ポイント）、サービス業△34.1（+18.0ポイント）は好転、建設業△39.3（-17.8ポイント）は悪化した。

来期は、製造業△25.8（+6.4ポイント）で好転、小売業△57.5（-3.7ポイント）、建設業△44.5（-5.2ポイント）、サービス業△41.2（-7.1ポイント）は悪化を予想している。

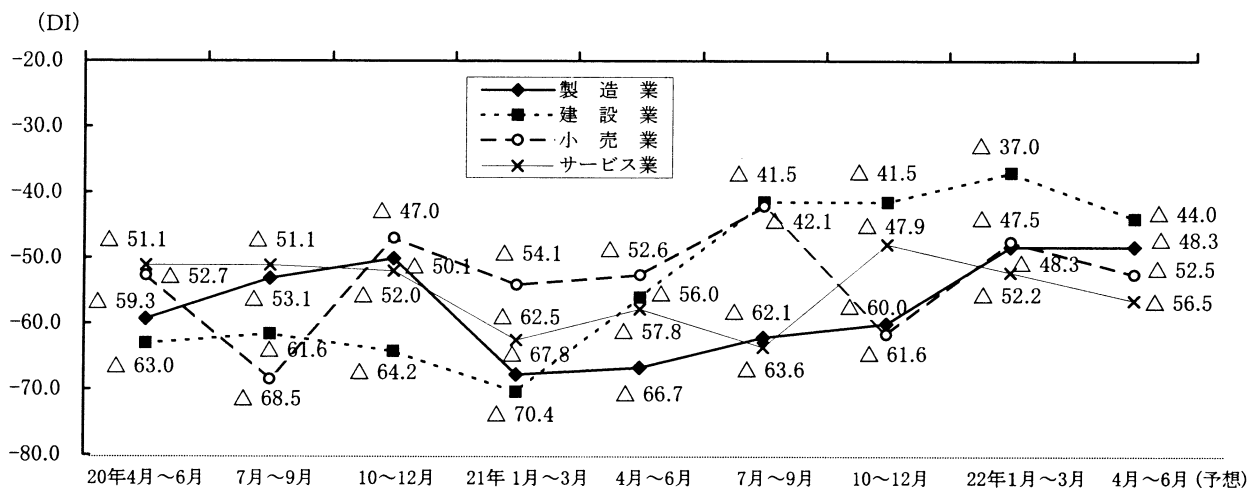


3. 採算D・Iの推移（前年同期比）

〔前期比、製造業・建設業で好転、サービス業は悪化した〕

今期は、前期より製造業 $\Delta 48.3$ （+11.7ポイント）、建設業 $\Delta 37.0$ （+4.5ポイント）、小売業 $\Delta 47.5$ （+14.1ポイント）は好転、サービス業 $\Delta 52.2$ （-4.3ポイント）は悪化した。

来期は、製造業は横這い、建設業 $\Delta 44.0$ （-7.0ポイント）、小売業 $\Delta 52.5$ （-5.0ポイント）、サービス業 $\Delta 56.5$ （-4.3ポイント）は悪化を予想している。

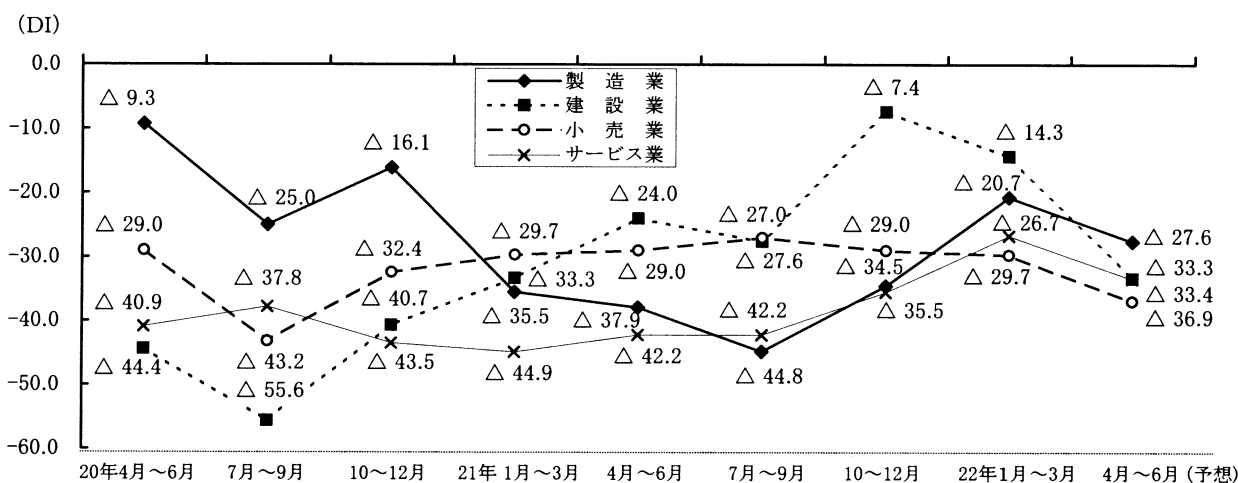


4. 資金繰りD・Iの推移（前年同期比）

〔前期比、製造業・サービス業は好転、建設業・小売業は悪化した〕

今期は、前期より製造業 $\Delta 20.7$ （+13.8ポイント）、サービス業 $\Delta 26.7$ （+8.8ポイント）は好転、建設業 $\Delta 14.3$ （-6.9ポイント）、小売業 $\Delta 29.7$ （-0.7ポイント）は悪化した。

来期は、製造業 $\Delta 27.6$ （-6.9ポイント）、建設業 $\Delta 33.3$ （-19.0ポイント）、小売業 $\Delta 36.9$ （-7.2ポイント）、サービス業 $\Delta 33.4$ （-6.7ポイント）と全てで悪化を予想している。



D I 値による全国動向との対比

全 国	—●— 売上	- - -○- - - 採算	- - -●- - - 資金繰り
富山県	—○— 売上	- - -○- - - 採算	- - -○- - - 資金繰り

製 造 業 (前年同期比D・I)

		21年	22年	
		10~12月	1~3月	4~6月
売 上	全 国	△ 49.0	△ 33.6	△ 25.0
	富山県	△ 65.6	△ 32.2	△ 25.8
採 算	全 国	△ 47.9	△ 47.4	△ 48.5
	富山県	△ 60.0	△ 48.3	△ 48.3
資金繰り	全 国	△ 37.3	△ 32.0	△ 38.5
	富山県	△ 34.5	△ 20.7	△ 27.6

全国は、売上・資金繰りで好転し、採算は横這い。
 来期は、売上で好転、採算・資金繰りで悪化を予想している。
 本県は、売上、採算・資金繰り全てで好転した。
 来期は、売上で好転、資金繰りは悪化、採算で横這いを予想している。
 全国との比較では、今期本県は売上、資金繰りで上回り、採算で下回った。

建 設 業 (前年同期比D・I)

		21年	22年	
		10~12月	1~3月	4~6月
売 上	全 国	△ 39.4	△ 38.2	△ 47.4
	富山県	△ 21.5	△ 39.3	△ 44.5
採 算	全 国	△ 50.4	△ 47.4	△ 48.5
	富山県	△ 41.5	△ 37.0	△ 44.0
資金繰り	全 国	△ 33.5	△ 32.0	△ 38.5
	富山県	△ 7.4	△ 14.3	△ 33.3

全国は、売上・採算・資金繰り全てが好転した。
 来期は、売上・採算・資金繰り全てで悪化を予想している。
 本県は、採算で好転、売上・資金繰りは悪化した。
 来期は、売上・採算・資金繰り全てで悪化を予想している。
 全国との比較では、今期本県は採算・資金繰りで上回り、売上で下回った。

全国	—●—	売上●.....	採算	---●---	資金繰り
富山県	—○—	売上○.....	採算	---○---	資金繰り

小 売 業 (前年同期比D・I)

		21年	22年		21年7~9月	10~12月	22年1~3月	4~6月
		10~12月	1~3月	4~6月				
売 上	全 国	△ 54.6	△ 47.7	△ 43.6				
	富山県	△ 60.0	△ 53.8	△ 57.5				
採 算	全 国	△ 47.4	△ 46.6	△ 43.0				
	富山県	△ 61.6	△ 47.5	△ 52.5				
資金繰り	全 国	△ 34.4	△ 34.0	△ 33.3				
	富山県	△ 29.0	△ 29.7	△ 36.9				

全国は、売上・採算で好転、資金繰りは横這いであった。
 来期は、売上・採算・資金繰り全てで好転を予想している。
 本県は、売上・採算で好転、資金繰りで悪化した。
 来期は、売上・採算・資金繰り全てで悪化を予想している。
 全国との比較では、今期本県は、資金繰りで上回り、売上・採算で下回った。

サ ー ビ ス 業 (前年同期比D・I)

		21年	22年		21年7~9月	10~12月	22年1~3月	4~6月
		10~12月	1~3月	4~6月				
売 上	全 国	△ 50.4	△ 47.7	△ 43.6				
	富山県	△ 52.1	△ 34.1	△ 41.2				
採 算	全 国	△ 47.8	△ 46.6	△ 43.0				
	富山県	△ 47.9	△ 52.2	△ 56.5				
資金繰り	全 国	△ 34.4	△ 34.0	△ 33.3				
	富山県	△ 35.5	△ 26.7	△ 33.4				

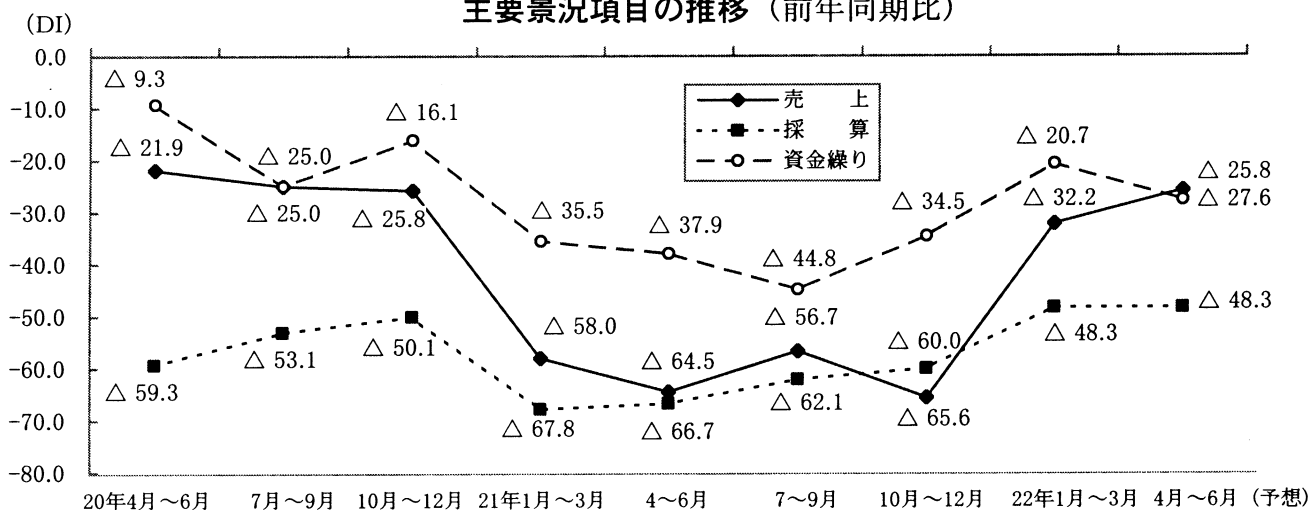
全国では、売上・採算で好転、資金繰りで横這いであった。
 来期は、売上・採算で好転、資金繰りは悪化を予想している。
 本県は、売上・資金繰りで好転、採算は悪化した。
 来期は、売上・採算・資金繰り全てで悪化を予想している。
 全国との比較では、今期本県は、売上・資金繰りで上回り、採算で下回った。

製 造 業

1. 主要景況項目の動向

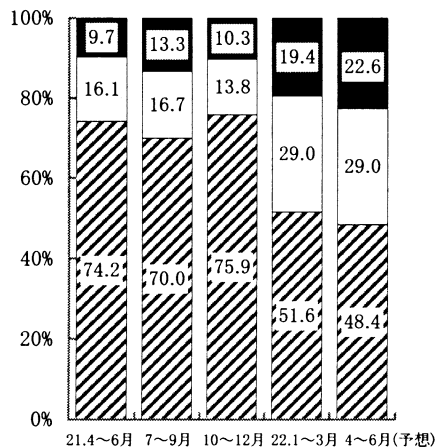
今期は、売上額が電気機械器具製造等で増加したため、DIは前回調査比33.4ポイント上昇し△32.2となった。採算は11.7ポイント上昇、資金繰りも13.8ポイント上昇した。来期は、売上で好転、資金繰りで悪化、採算では横這いを予想している。

主要景況項目の推移（前年同期比）

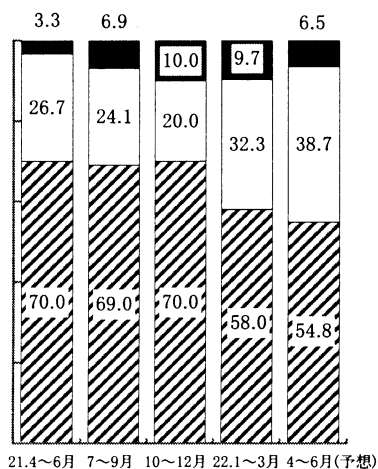


■ 上昇・好転 □ 不変 ▨ 低下・悪化

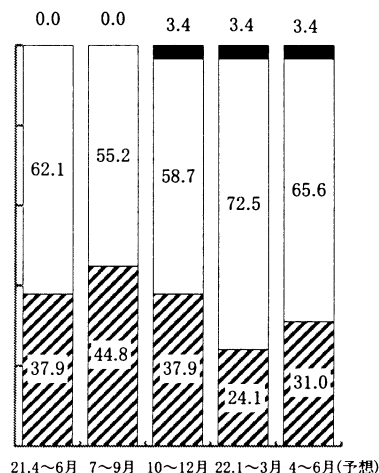
売上額の状況



採算の状況

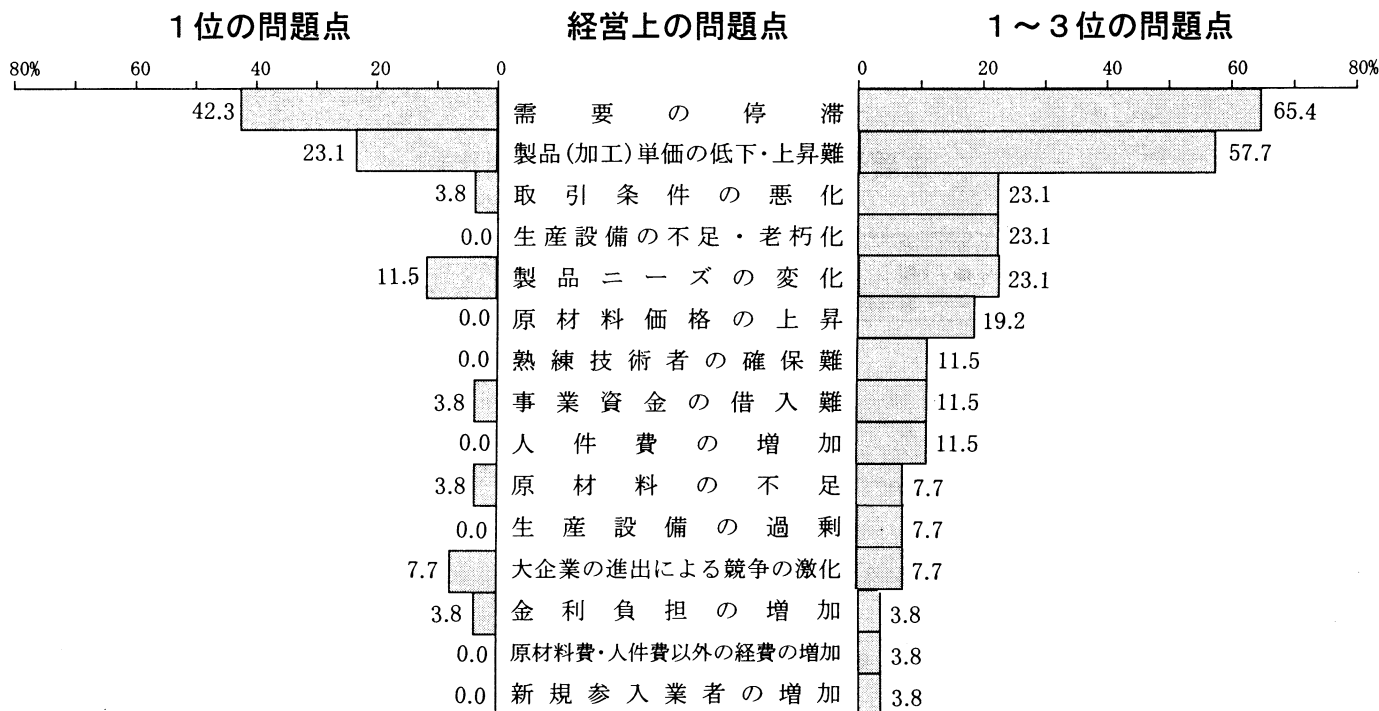


資金繰りの状況



2. 経営上の問題点

問題点の上位は、①「需要の停滞」(42.3%) ②「製品(加工)単価の低下・上昇難」(23.1%) ③「製品ニーズの変化」(11.5%)。これを1位～3位までの合計で見ると、①「需要の停滞」(65.4%) ②「製品(加工)単価の低下・上昇難」(57.7%) ③「製品ニーズの変化」(23.1%)の順となった。「需要の停滞」が上位に定着してきている。

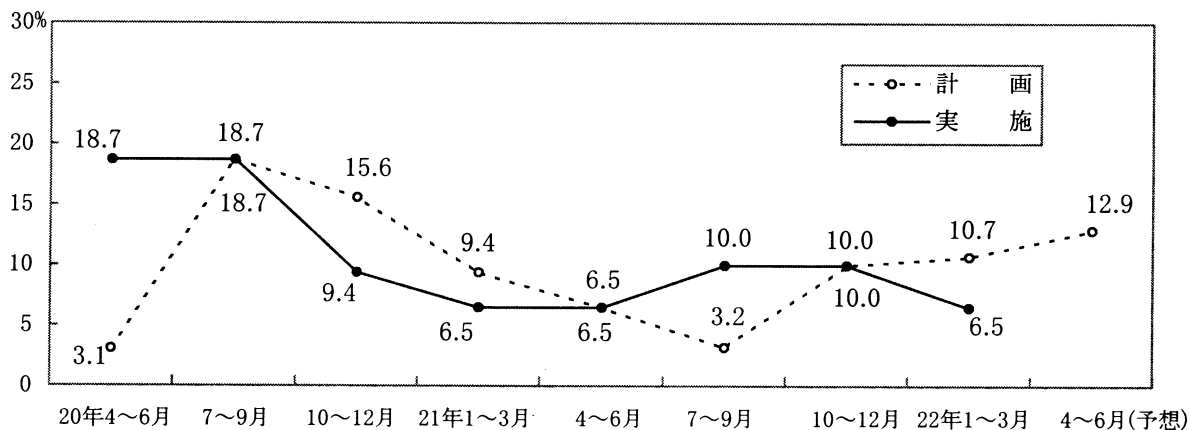


3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比低下の6.5%となった。投資内容は車両・運搬具、付帯設備となっている。

来期計画は、2.2ポイント上昇し12.9%となっている。投資内容は生産設備、車両・運搬具となっている。

設備投資計画及び実施状況



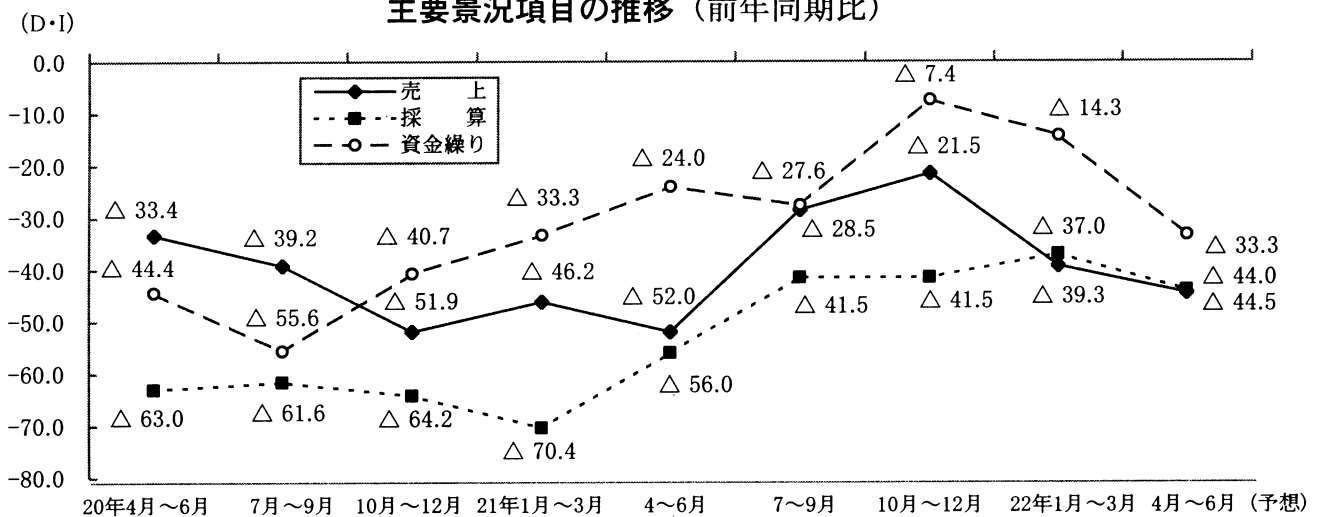
建設業

1. 主要景況項目の動向

今期は、売上額が土木工事業等で減少したため、D Iは前回調査比 17.8 ポイント減少し△39.3 となった。採算は 4.5 ポイント上昇し△37.0、資金繰りは 6.9 ポイント減少し△14.3 と悪化した。

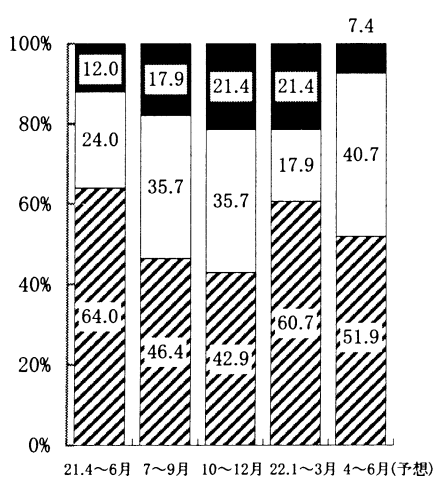
来期は、売上・採算・資金繰り全てで悪化を予想している。

主要景況項目の推移（前年同期比）

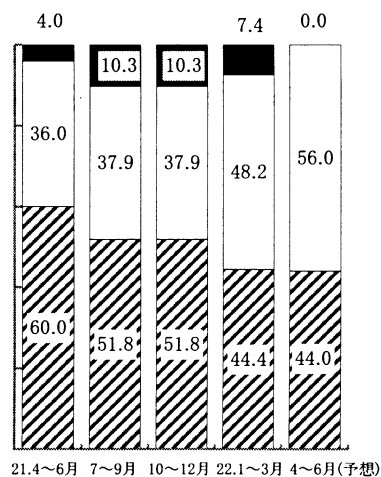


■ 上昇・好転 □ 不変 ▨ 低下・悪化

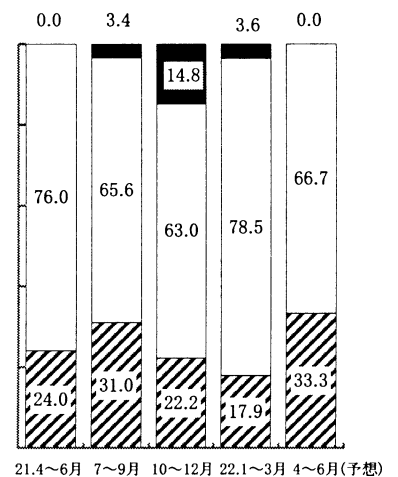
売上額の状況



採算の状況

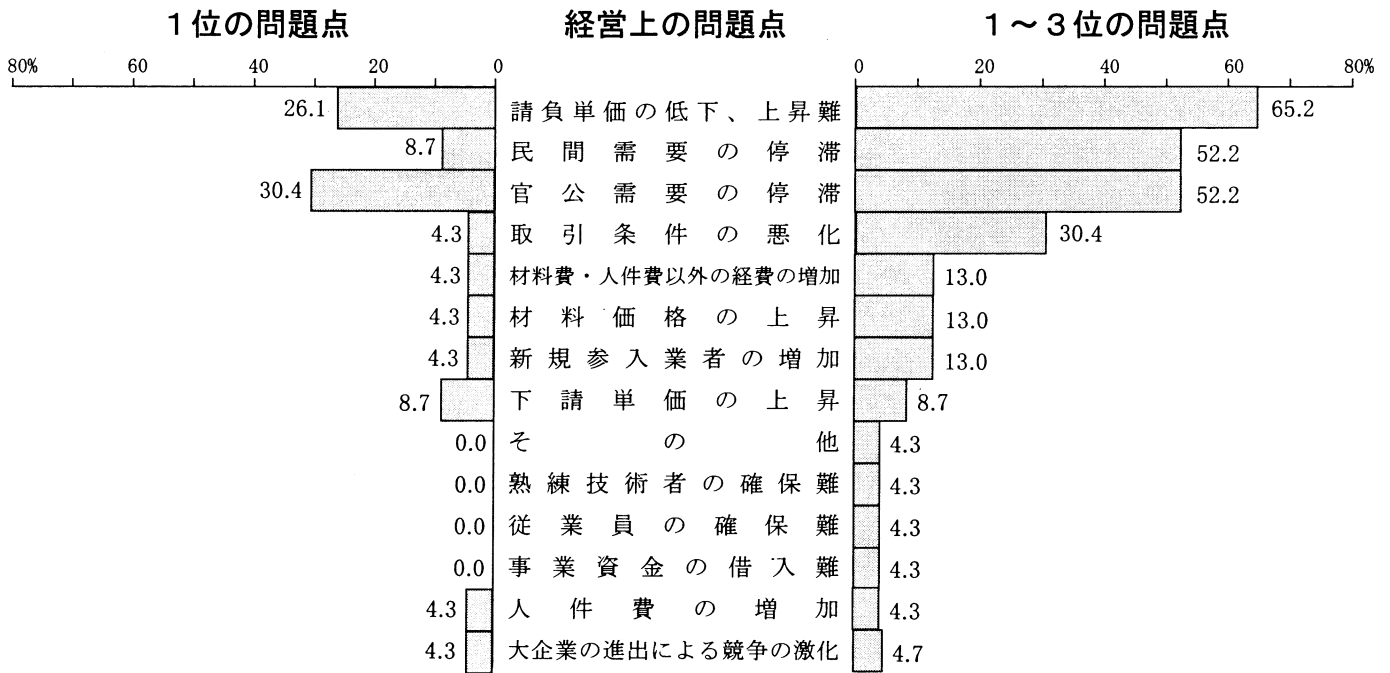


資金繰りの状況



2. 経営上の問題点

問題点の上位は、①「官公需要の停滞」(30.4%) ②「請負単価の低下、上昇難」(26.1%) ③「下請単価の上昇」(8.7%)となった。これを1位～3位までの合計で見ると、①「請負単価の低下・上昇難」(65.2%) ②「官公需要の停滞」(52.2%) ③「民間需要の停滞」(52.2%)の順となった。「請負単価の低下、上昇難」「官公需要の停滞」「民間需要の停滞」が上位に定着してきている。

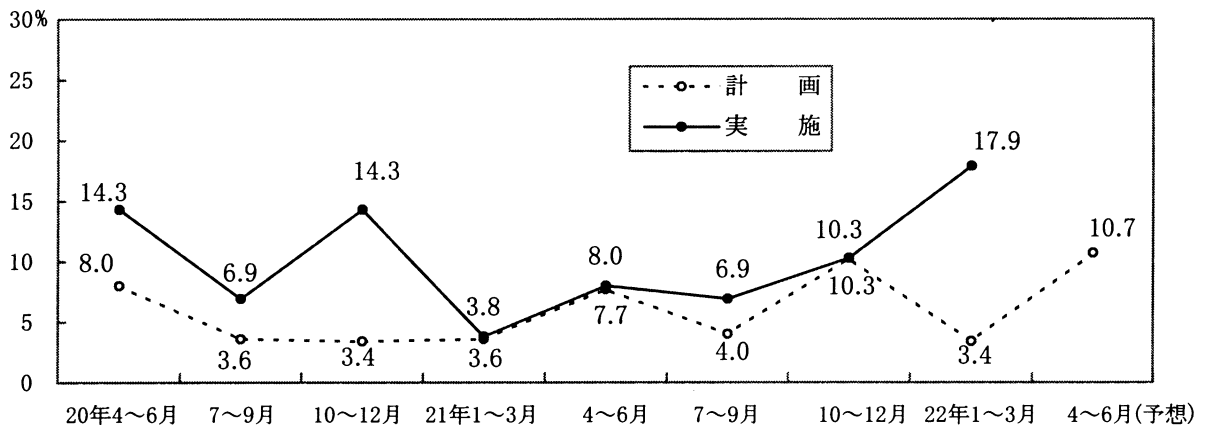


3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比7.6ポイント上昇し17.9%となった。投資内容は機械設備、OA機器となっている。

来期計画は、7.3ポイント上昇し10.7%となっている。投資内容は車両・運搬具と機械設備となっている。

設備投資計画及び実施状況

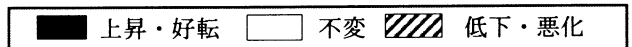
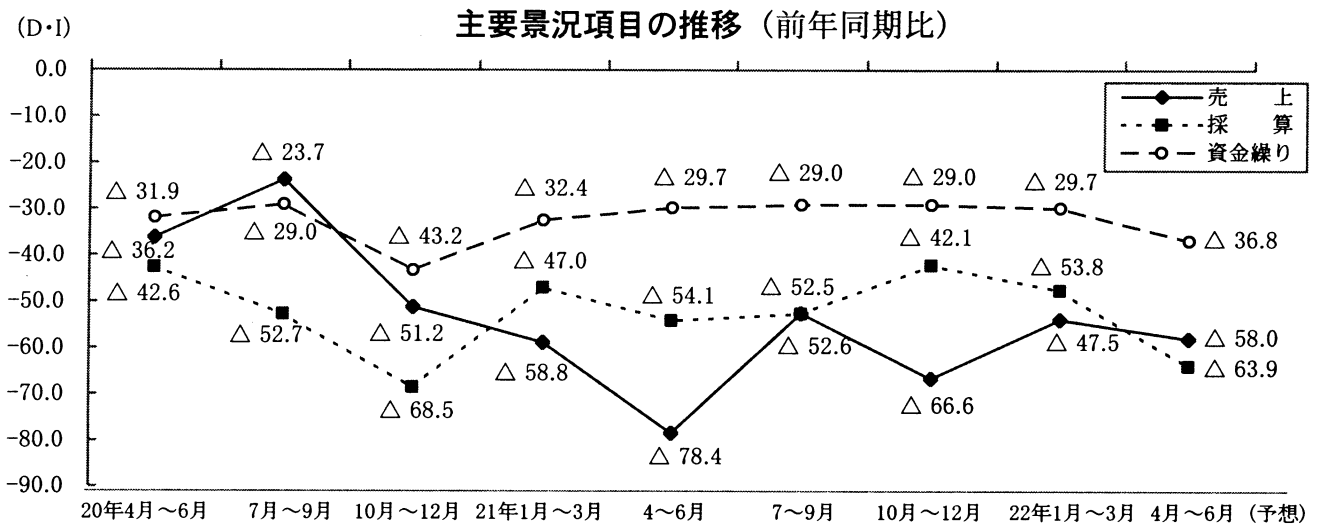


小 売 業

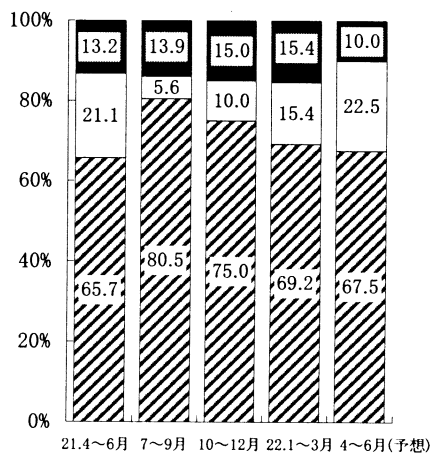
1. 主要景況項目の動向

今期は、売上額が食料品小売業等で上昇したため、D Iは前回調査比 6.2 ポイント上昇し△53.8 となった。採算は 14.1 ポイント上昇し△47.5、資金繰りは 0.7 ポイント減少となった。

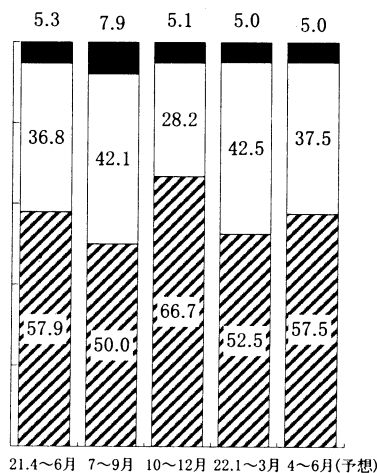
来期は、売上で好転、採算・資金繰りは悪化を予想している。



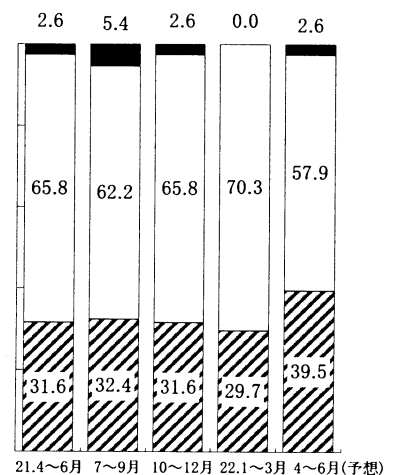
売上額の状況



採算の状況

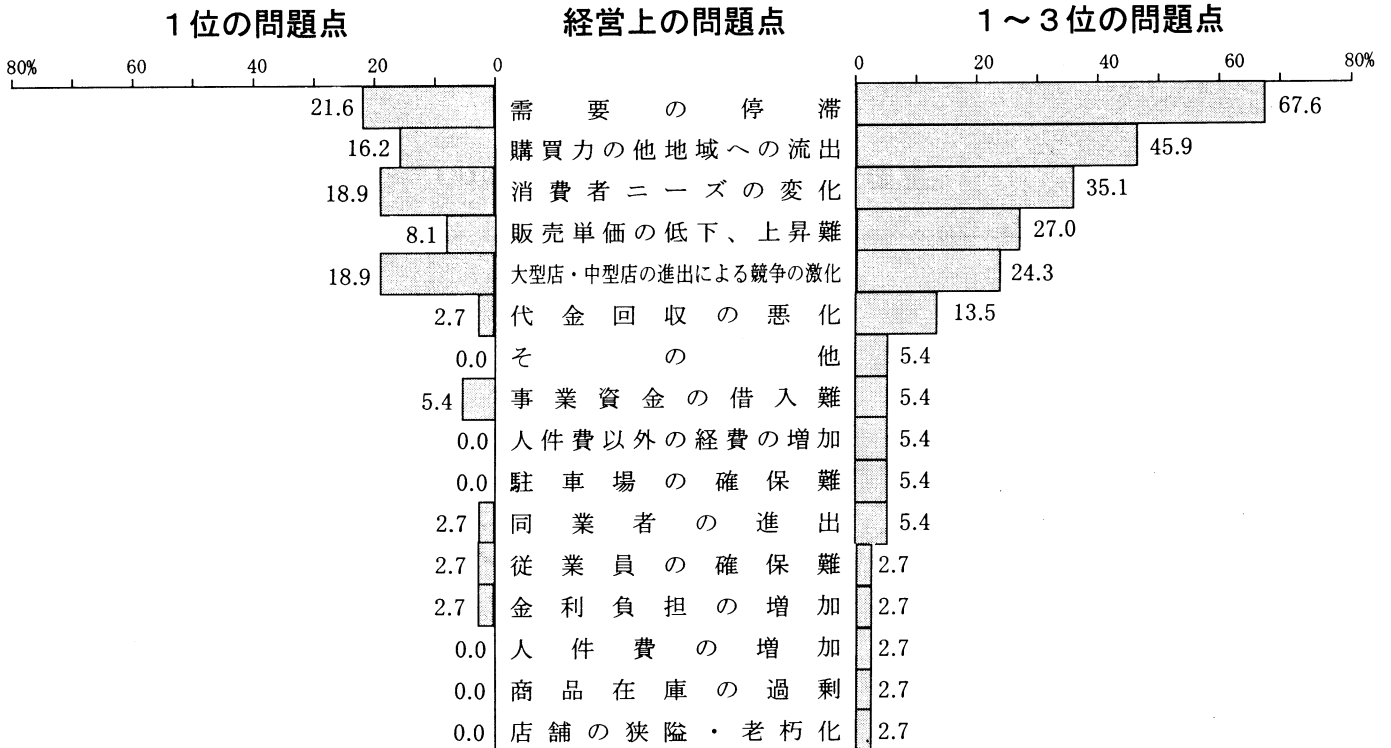


資金繰りの状況



2. 経営上の問題点

問題点の上位は、①「需要の停滞」(21.6%) ②「大型・中型店進出による競争の激化」(18.9%)「消費者ニーズの変化」(18.9%) ③「購買力の他地域への流出」(16.2%)となった。これを1位～3位までの合計で見ると、①「需要の停滞」(67.6%) ②「購買力の他地域への流出」(45.9%) ③「消費者ニーズの変化」(35.1%)の順となった。「需要の停滞」は上位に定着してきている。

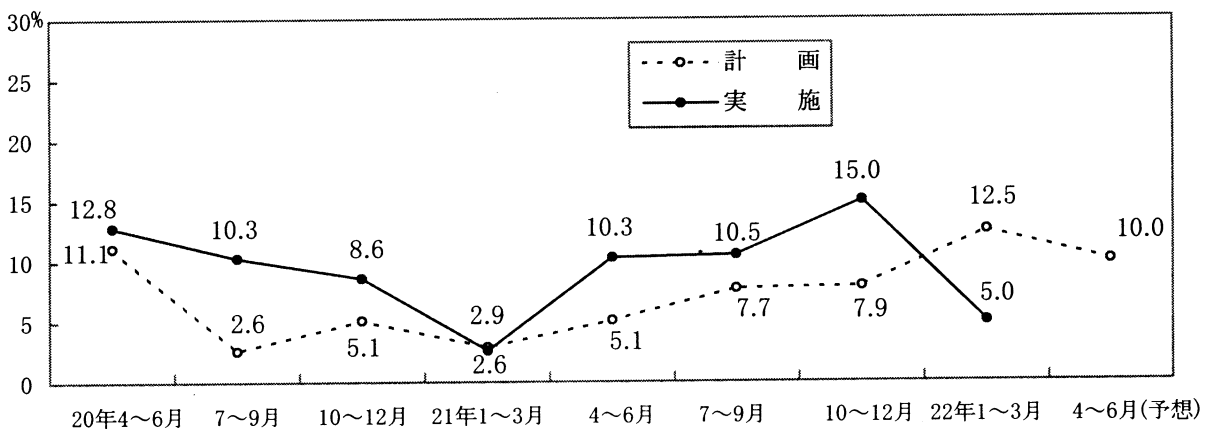


3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比 10.0 ポイント低下し 5.0%となった。投資内容は、車両・運搬具・店舗となっている。

来期計画は、2.5 ポイント低下し 10.0%となっている。投資内容は車両・運搬具、店舗となっている。

設備投資計画及び実施状況



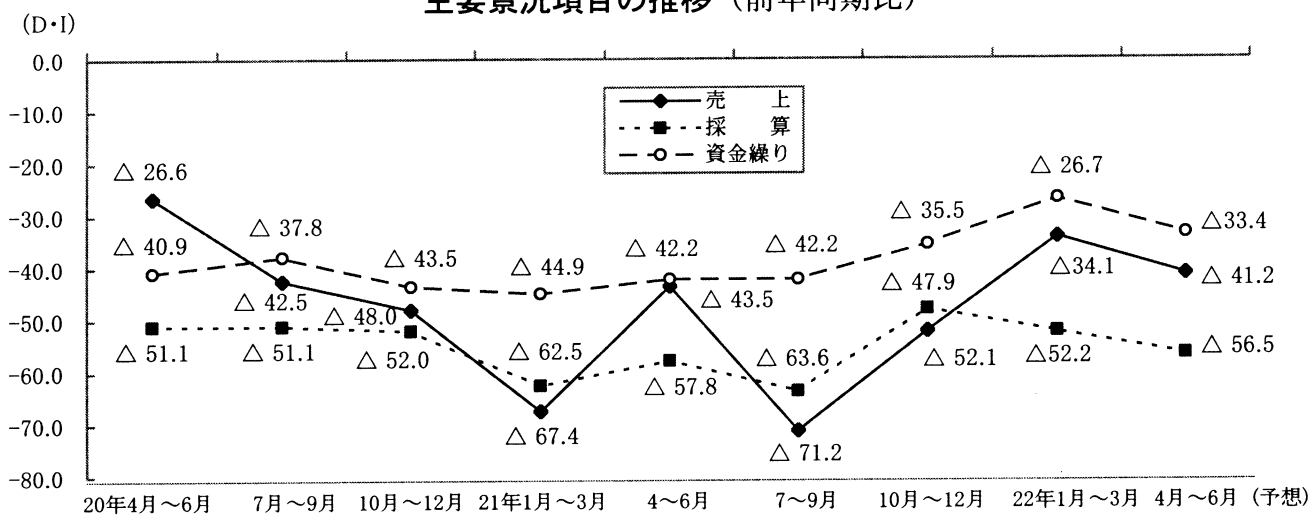
サービス業

1. 主要景況項目の動向

今期は、売上額が、理・美容業、一般廃棄物処理業等で上昇したため、D Iは前回調査比18.0ポイント上昇△34.1となった。資金繰りも8.8ポイント上昇し△26.7、採算は4.3ポイント減少し△52.2となった。

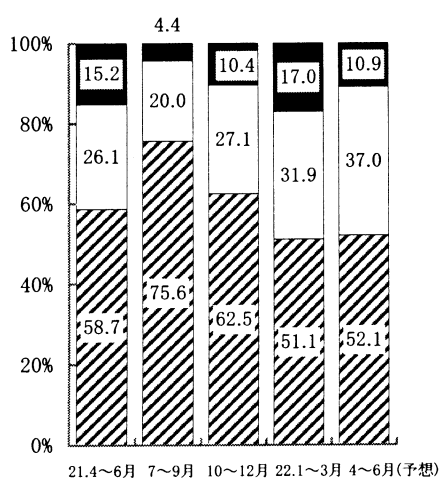
来期は、売上・採算・資金繰り全てで悪化を予想している。

主要景況項目の推移（前年同期比）

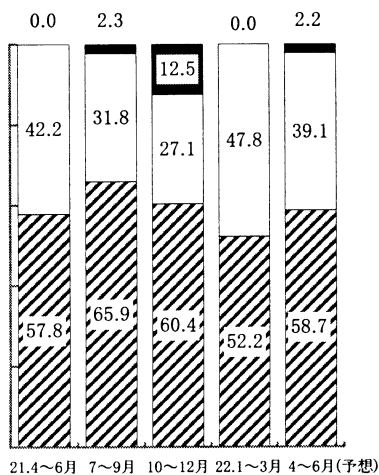


■ 上昇・好転 □ 不変 ▨ 低下・悪化

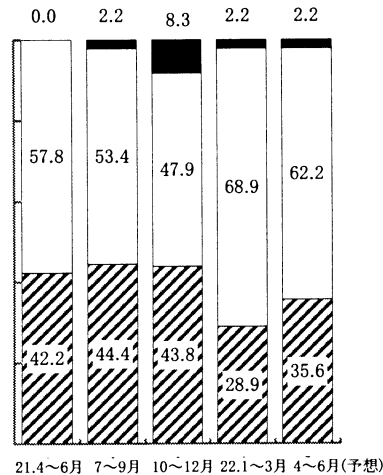
売上額の状況



採算の状況

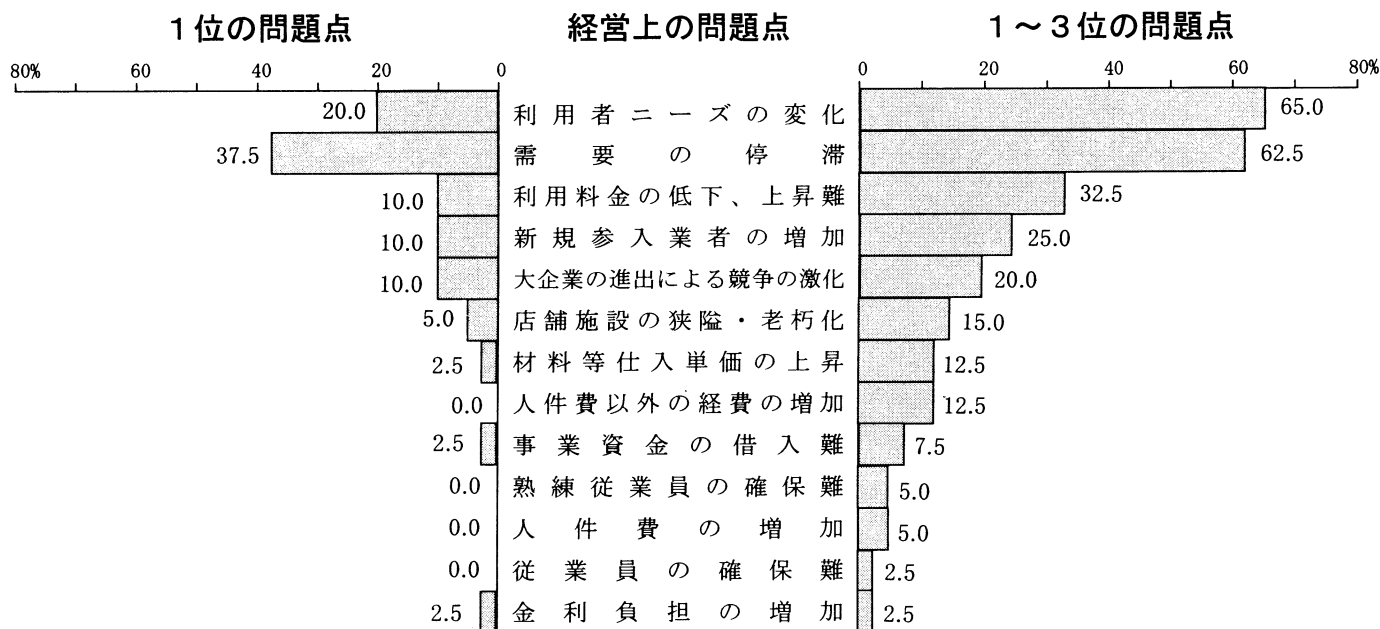


資金繰りの状況



2. 経営上の問題点

問題点の上位は、①「需要の停滞」(37.5%) ②「利用者ニーズの変化」(20.0%) ③「利用料金の低下、上昇難」(10.0%) となった。これを1位～3位までの合計で見ると、①「利用者ニーズの変化」(65.0%) ②「需要の停滞」(62.5%) ③「利用料金の低下、上昇難」(32.5%) の順となった。「需要の停滞」「利用者ニーズの変化」は每期上位に定着してきている。



3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、5.9ポイント低下し4.3%となった。設備内容は、車両・運搬具、その他となっている。

来期計画は、4.3ポイント上昇し8.5%となっている。投資内容は、建物、サービスとなっている。

設備投資計画及び実施状況

